

申15号

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」 に関する説明申し入れ 団体交渉を行う！(7月8日、14日)

5月26日に会社から提案を受けて以降、働き方が大きく変わる内容であることから、不安の声があがってきました。スローガン(右記)を基に、地本を通じて各職場から不明点や疑問点を集約することと並行して、申15号の申し入れを行い議論してきました。

しかし、まだ不明な点や疑問点は解消されていません。不安なく施策を担うために、さらに説明申し入れを行っていきます。

スローガン

- 1. 鉄道の安全を支えてきた、各系統の技術・技能を継承できる職場をつくり出そう！
- 1. 労働条件・環境の維持・向上を目指し、健康・ゆとり・働きがいの持てる風通しの良い職場をつくり出そう！
- 1. 現場視点で施策の本質を見抜き、組織強化・拡大を実現し、仕事と職場と生活を守るたたかいに決起しよう！

主な議論内容 (詳しい内容は業務部速報をご参照ください)

■現業機関における柔軟な働き方の実現を行う目的は？

コロナ禍であろうとなかろうと、社会の急速な変化から当社も逃れられない。「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向けて、鉄道輸送サービスだけに拘らず、お客さまのニーズに応えるため、役割に捉われない柔軟な働き方へ抜本的に見直す必要があるため。

■現業機関を統合してエリアマネジメントをする目的は？

一部支社機能を持つことで、現地、現場で解決できるものは解決できるようにしていく。

■なぜ職名の統合をするのか？

系統別の職名は、系統の垣根となっている最たるものとする。分業の全てを否定しないが、仕事の仕組みを変えるにあたり、職名を統一する。

■職名の見直しに伴って標準数の示し方はどうなるのか？

標準数は業務量を計算しているものの、算定式はない。業務量には繁閑がある。柔軟な働き方として今までのあり方がいいのか検討しなければならない。

■フレキシブル欠勤を行う目的は？

働きやすさの観点から導入する。

■安全レベルは向上するの？

安全はトッププライオリティ。安全・サービスレベルの向上はしていかなければならない。様々な視点を持つことで安全レベルは向上する。

■安全体制の確立・維持を目指すために系統のプロは必要だ！

系統の壁をいい意味で乗り越えていかなければならないが、各業務には精通してもらわないといけない。業務のプロは必要だと考える。乗務員養成や資格を要する業務にあたるための必要な教育は今までと変わることなく行っていく。

■今提案と「新たなジョブローテーションの実施について」との違いは？

今提案は、新しい職場ができるという枠組みを変える内容。ジョブローテーションは人の運用、異動についてであり、議論経過は変わらない。また、ライフサイクルの深度化も変わるものではない。

■キャリア加算はいつ加算されるのか？

業務内容によって加算されるようになるため、見習いが終了して現場長が人事課に上申して、翌月1日から支給される。発令を伴う場合は、発令した日。発令により職務手当が支給されているものは変わりなく行う。

■事務職の組合員へ支給されている技能手当をなぜ削減するのか？

事務職に特化するものではなく、柔軟な働き方を実現するため様々な業務に従事することを目指していることから、見直しを行う。

■統括センター及び営業統括センターの規模や配置などはどうなる？

地理的特性などがあるので、一律の基準は考えていない。最初から統括センターの場合もあれば、営業統括センターに乗務員区を加えて統括センターに段階的に設置していくなど、ケースバイケースで行っていく。統括センター及び営業統括センターは一つの事業場になるので、現場長は所長一人。副長(助役)の配置、役割分担はエリアの特状をみながら対応する。

■36協定の取り扱いはどうなるのか？

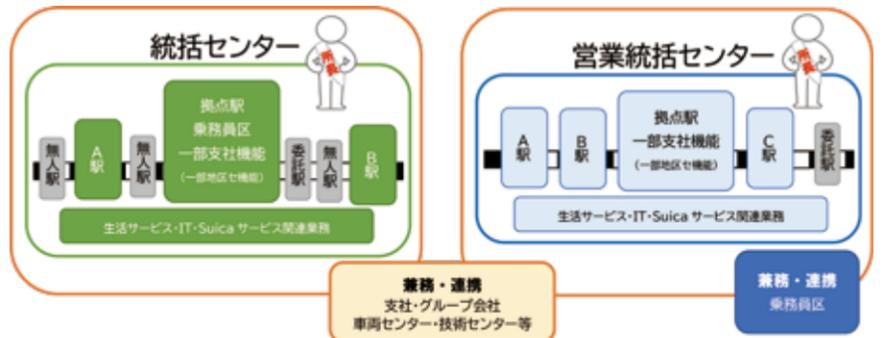
一つの事業場になるので、36協定の考え方、取り扱いについて変わるものではない。過半数代表者も同様。

■統括センター及び営業統括センターの業務内容は？

統括センターにおいて、理想は全員が乗務できればいいが、運転士養成には時間がかかる。オールマイティな社員が一人でも多い方がいいという考えは持っている。ケースバイケースだが、バランスを考えて業務を指定していく考えである。徐々に業務の融合をしていくものとする。

営業統括センターと乗務員区の兼務・連携は、出札・改札や地区センター、プロジェクトなど、ありとあらゆる分野である。ケースバイケースで行っていく。

地区指導センター、地区センターの機能、業務は各支社違うので、現実に踏まえて引継ぎを行っていく。



■勤務指定や休日明示、労働時間管理はどうなるのか？

一つの事業場になるので、勤務指定や休日明示は一括して行うことが理想である。取り扱いについては変わらない。

日単位及び時間単位で勤務が変わる場合は、わかりやすい表記で勤務指定をしていく必要がある。統括センターは作業ダイヤの中に乗務や改札業務などを示す。営業統括センターにおいて乗務員が乗務した場合は日単位での業務であり、時間単位の働き方は想定していない。

乗務員勤務制度の考え方は変わらない。乗務行路に変更はないが、乗務の空いた時間(その他時間)を活用して違う業務に就くことはある。

次期JINJREシステムの更新においても労働時間管理の整理方法について変更はない。

仕事と職場と生活を守るために、全組合員で職場から議論を巻き起こそう！

サークル活動のお知らせ

サークル協議会 第32回定期総会

日時 8月18日(水)13:00~
場所 本部会議室およびテレビ会議

未だに厳しいコロナ禍の状況ですが、1年間の活動方針を議論していきます！

第27回軟式野球

「東北大会」	「関東大会」
日時 9月16日(木)10:10~	日時 9月15日(水)10:00~
場所 盛岡市太田橋野球場	場所 さいたま市荒川総合運動公園野球場



参加者 各地本15名(監督含む)、各地本選出の審判員
参加費 3,000円
参加報告 8月27日(金)まで

——— 多くの参加をお待ちしています! ———

サークル活動を通じて組織強化・拡大をつくり出していこう！

安全・命を最大の価値基軸に 「職場と仕事と生活を守るため」 仲間と共に未来を切り拓く 8・9フォーラム

■日時 8月9日(月)10時30分~

■場所 イベントホール松栄
(仙台駅東口徒歩3分)

本部および各部会、バス本部からの提言に基づき、会社の「言っていることとやっていることが違う現実」に切り込み、JR東日本の構造改革に立ち向かおう！